

基本目標



子どもが健やかに育ち、 いきいきと輝けるまち

地域全体で子育てを支えるという理念を大切に、子育て支援に積極的に取り組む市として、安心して子どもを産み、楽しく育てることができ、全ての子どもがすくすくと成長する環境づくりを目指します。

また、安全に健やかに過ごせる環境の中で、これからの社会の在り方を見据えた特色ある教育を展開し、子どもたちが未来の創り手となるための力を育むことを目指します。

子どもが健やかに育ち、
いきいきと輝けるまち

施策 1 子育て支援の充実

施策 2 乳幼児期の保育・教育の充実

施策 3 児童・青少年の育成環境の充実

施策 4 世界で活躍できる人間の育成





第10回戸田市フォトコンテスト優秀賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	

基本目標 I に該当するSDGsの目標は、背景色をカラーで示しています。



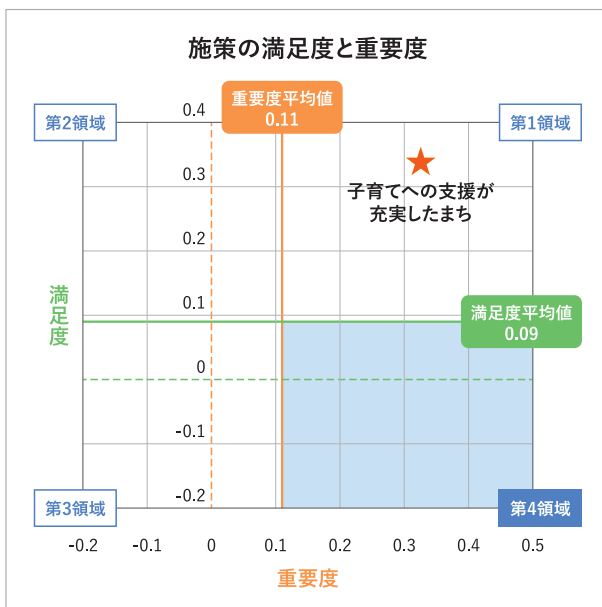
子育て支援の充実

【施策の目的】

心理的、経済的な問題により、子どもを産み育てることへの不安を抱えている状況を解消し、戸田市で子育てする全ての家庭が、安心して楽しく子育てができることを実感できる環境を整備します。

現況と課題

- 戸田市では、若い世代を中心とした転出入が多い地域性であることから、これまで地域子育て支援拠点における親子の交流の場づくりや経済的な支援など、子育て支援の充実に努めてきました。
- 核家族世帯の増加や地域コミュニティの希薄化に伴い、家庭や地域における子育て力は、近年低下しており、子育て中の保護者の育児に対する孤独感や不安感は増加しています。これに比例するように、育児に関する相談や虐待通告件数についても年々増加しています。
- 児童虐待による痛ましい事件が後を絶たない状況を受けて、児童虐待防止に向けた法改正等の対策が強化されるなか、戸田市においては、児童虐待防止へ向けた相談支援体制や専門性の強化が課題となっています。
- 子どもの貧困の問題が全国的に注目されるなか、経済的困窮に陥りやすいひとり親家庭等に対して、更なる支援が求められています。しかし、子育て家庭への経済的支援については、対象者の増加やサービス範囲の拡大に伴い、市の財政負担も増えていることから、それぞれの家庭が抱える問題を考慮しつつ、より効果的な運用を図る必要があります。



第10回戸田市フォトコンテスト応募作品





取り組みの方針

(1) 妊娠・出産から育児まで切れ目ない支援の展開

- 子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、それぞれの家庭の状況に応じた継続的な相談・支援体制の充実を図ります。
- 子育て世代包括支援センター^{*}の機能を強化し、妊娠・出産・育児に関する情報提供体制の充実を図ります。
- 子ども、保健、教育各部門の連携を更に進め、相談に適切に対応します。
- 子育て世代同士の交流の場の確保に取り組みます。
- 地域全体で子育てを見守っていけるよう意識の醸成を図ります。

(2) 児童虐待の防止と対策の強化

- 要保護児童対策地域協議会における各関係機関との情報共有及び連携を強化します。
- 児童虐待を未然に防ぐため、子ども家庭総合支援拠点^{*}を活用して早期発見、迅速な対応を図ります。

(3) 経済的な支援と配慮を要する家庭への支援

- こども医療費や児童手当などの各種制度について、効果的に運用します。
- ひとり親家庭など、特に配慮を必要とする家庭に対する経済的支援や就労支援、学習支援などを行います。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
子育てがしやすいと感じている割合	子育てしやすいと感じている市民の割合	68.3%	77.3%	【市民意識調査】平成22年度(2010年度)から平成30年度(2018年度)までの増加率の平均値(年1.5%)を加算
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間のある母親の割合	「お子さんのお母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がある」と回答した割合	3・4か月児 84.4% 1歳8か月児 76.8% 3歳6か月児 70.5%	3・4か月児 88% 1歳8か月児 79% 3歳6か月児 73%	【健やか親子21】4か月児健診、1歳8か月児健診、3歳6か月児健診受診者の平成29年度(2017年度)全国平均値
合計特殊出生率	一人の女性が15歳～49歳までの生涯で、何人子どもを産むかの推計値	1.30	1.48	第5次総合振興計画における人口推計の仮定値

関連計画

- 第2期戸田市子ども・子育て支援事業計画
- 第2期戸田市母子保健計画



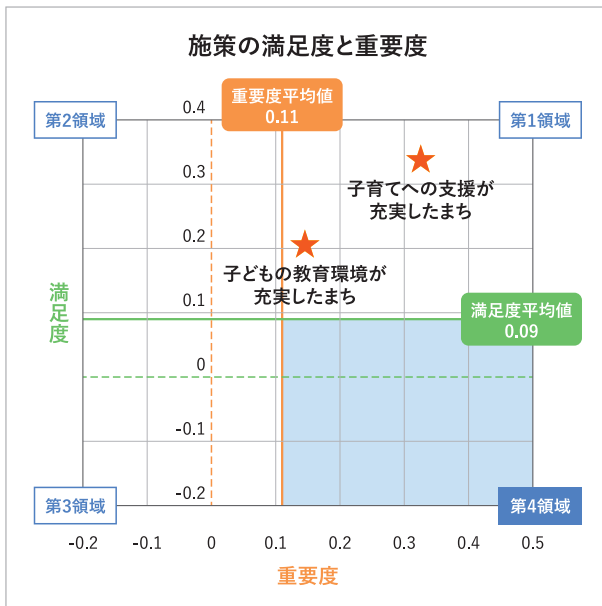
乳幼児期の保育・教育の充実

【施策の目的】

市民の多様な保育・教育ニーズに対応するため、必要なサービスの量と質を確保し、環境整備を図ります。また、幼稚園、保育施設、小学校の連携を強化し、子育てに関する切れ目のない支援の充実を図ります。

現況と課題

- 戸田市では、待機児童数がピークとなった平成28年度（2016年度）に待機児童緊急対策室を設置し、受入枠の緊急拡大、保育人材の緊急確保を進めました。この待機児童対策により認可保育所や小規模保育事業所[※]の新設などが進み、保育の量を拡大しましたが、一方で保育の質の確保が課題となっています。
- 令和元年（2019年）10月から実施された幼児教育・保育の無償化により、保育施設及び幼稚園を利用する世帯の経済的負担は軽減されましたが、無償化により新たに保育施設等を利用する希望者の増加による待機児童の発生が懸念されます。
- 全国的な保育士不足のなか、質の高い魅力的な保育を行っていくためには、保育人材の確保・定着化が課題です。このため、各保育施設の保育士が学習できる機会の提供や各保育施設の交流により、それぞれのつながりを作ることで経験を共有する場を設けるなど、保育士が働きやすい環境を作ることが必要です。
- 特別支援保育や虐待、貧困等による個別に配慮が必要な子どもが増加しており、小学校での生活の変化に対応が難しい子どもへの支援が課題となっています。子どもの発達や学びの連続性を踏まえ、幼稚園や保育施設から小学校へ子どもの健やかな育ちをつないでいく必要があります。





取り組みの方針

(1) 保育の質の確保

- 市民の多様な保育ニーズに応えるため、保育コンシェルジュ^{*}による相談対応などにより、希望に沿った保育施設や保育サービスに関する情報を提供します。
- 保育の質の向上のため、専門職による各保育施設への指導監査や巡回指導を実施するほか、市内合同研修を充実します。

(2) 保育人材の確保・定着化

- 戸田市の保育の魅力アップのため、運営事業者間の垣根を越えて交流や連携を図り、働きやすい職場環境づくりや安定的な運営の維持などに取り組みます。
- 地域の資源や人材とのつながりを深め、多様な保育の担い手を確保します。

(3) 幼保小の切れ目ない支援

- 幼稚園や保育施設から小学校の生活にスムーズに移行できるよう、保育園等の保育施設や幼稚園と市、市教育委員会、その他地域の関係団体等の連携強化に積極的に取り組みます。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
待機児童数	保育所等の待機児童数(毎年4月1日現在)	0人	0人	0人を維持
幼児教育・保育の無償化対象施設数	幼児教育・保育の無償化対象の確認を受けた施設数	52施設	58施設	年度当たり1施設増
小学校への接続カリキュラム実施施設数	小学校就学に向けた就学接続カリキュラム(アプローチカリキュラム)の実実施施設数	15施設	44施設	市内全保育所で実施(100%)

関連計画

- 第2期戸田市子ども・子育て支援事業計画



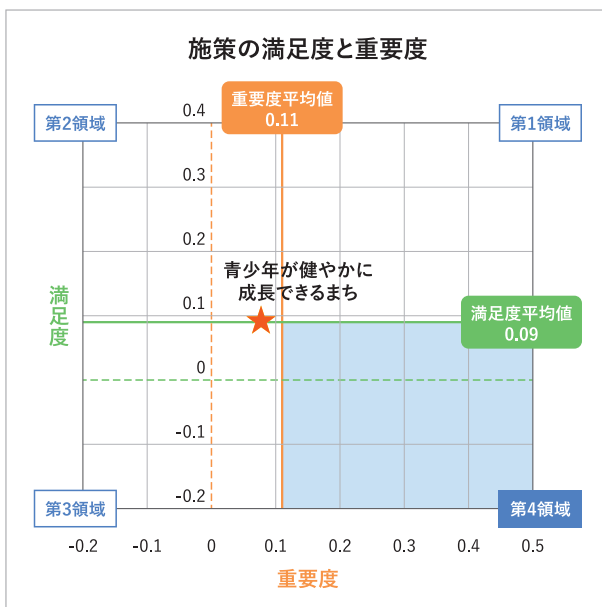
児童・青少年の育成環境の充実

【施策の目的】

児童・青少年が心身ともに健全に成長するために、
家庭・地域・学校・行政が一体となり、児童・青少年の育成環境の充実や
整備を図ります。

現況と課題

- 児童虐待やいじめ、少年による重大事件、有害情報の氾濫など、児童や青少年を取り巻く環境は厳しいものとなっており、次世代を担う人材が健やかに成長できる家庭や学校、地域の環境づくりが求められています。
- 戸田市では、学童保育室や放課後子ども教室^{*}、児童センターなどにおいて、子どもの安全・安心な居場所づくりを進めていますが、学童保育室における待機児童の発生や都市化に伴う遊び場の減少などが課題となっています。
- 学童保育需要が増加しているなか、市民の多様なニーズに応えるため、多様な保育ができる民間学童保育室の拡充、公立学童保育室の保育人員の確保、保育の質の確保が課題となっています。
- 価値観の多様化や地域におけるつながりが希薄化するなか、児童・青少年が健やかに成長するためには、異年齢や多世代との関わりを通じて、仲間づくりや社会のルール、生きる力を学べる環境が必要です。
- 子どもの居場所づくりや健やかな成長にかかる市民の多様なニーズに応えるため、地域の担い手の確保や育成も課題となっています。



第10回戸田市フォトコンテスト応募作品



取り組みの方針

(1) 放課後の子どもの居場所の確保・充実

- 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所の確保や充実のため、家庭・地域・学校・行政が連携して放課後子ども教室を運営し、開催場所の確保及び内容の拡充を図ります。
- 学童保育室については、利用者のニーズを的確に捉え、必要に応じて拡充するとともに、児童の安全を確保しながら保育内容の充実を図ります。

(2) 子どもの健やかな成長のための場や機会の充実

- 児童センターや青少年の広場をより魅力的で活動しやすい場とするため、施設整備や講座の充実を図ります。
- 子どもの健やかな成長を促すため、体験学習・異年齢交流の場や機会を提供するとともに、地域におけるこれらの活動を支援します。
- 子どもたちが地域活動に参加し、多様な社会体験を積むことができる青少年団体の育成支援を図ります。

(3) 担い手の確保・育成

- 地域や学校等と連携しながら、放課後子ども教室や青少年の居場所で子どもたちを見守るボランティアスタッフの確保に努めるとともに、ボランティアスタッフの意見を運営に取り入れながら、担い手の確保や育成に努めます。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
青少年の育成に関する満足度	豊かな心を育む青少年の育成に満足している市民の割合	17.1%	19.7%	【市民意調査結果】平成26年度(2014年度)から平成30年度(2018年度)までの増加率の平均値(年0.425%)を加算
児童センター年間延べ利用者数(中高生)	児童センターの中高生の年間延べ利用者数	26,927人	28,869人	年1.0%増で推計
青少年の居場所年間延べ利用者数	青少年の居場所の年間延べ利用者数	1,492人	1,555人	年0.6%増で推計

関連計画

- 第2期戸田市子ども・子育て支援事業計画



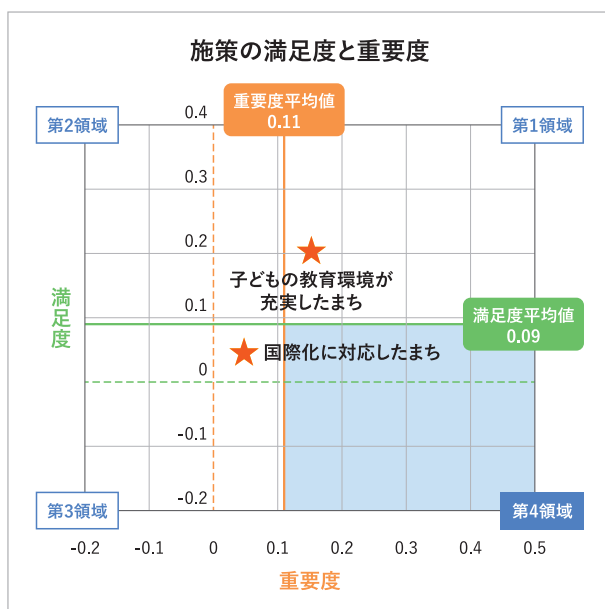
世界で活躍できる人間の育成

【施策の目的】

世界で活躍できる人間を育成するため、安心して快適に過ごすことができる学校施設の維持・再編、学校のICT*環境整備推進、安全な給食の提供など児童生徒にとって好ましい教育環境を整備するとともに、これからの時代を生き抜くための力を身につけさせるように努めます。

現況と課題

- 近年、情報化やグローバル化のほか、人工知能やビッグデータ*の活用等の技術革新など、社会構造は急速に変化しており、今後そのスピードはさらに加速すると言われています。これからの多様化・複雑化する社会において、子どもたちは自分がどう生きるかを主体的に判断し、実行していく力が求められます。
- 各種学力調査の結果から戸田市の児童生徒の学力は、埼玉県内でトップクラスを維持しています。一方、判断の根拠や理由を明確にしながら自分の考えを述べることや、学習したことを生活や社会の中の課題解決に生かしていくことに課題があります。また、様々な課題を抱える児童生徒への対応も必要です。
- よりよい学校運営のためには、地域の協力が不可欠であり、学校運営協議会*のより深い学校理解と積極的な学校運営参画が重要となります。
- 児童生徒の育成を図るためには、安全・安心な教育環境の整備が必要となりますが、戸田市では、人口増加の影響で児童生徒数が増加しており、それに伴う食物アレルギーを持つ児童生徒、経済的援助を必要とする家庭への対応も近年増加傾向にあります。また、教室不足の解消や給食供給能力の確保、学校施設の維持管理、ICT環境の整備などの環境づくりが必要となっています。





取り組みの方針

(1) 世界で活躍するための能力育成の推進

- これからの時代に必須となる21世紀型スキル^{*}や汎用的スキル^{*}、非認知スキル^{*}などの育成に加え、柔軟で幅広い視野や違いを受け入れられる力、外国語によるコミュニケーション力などの異文化対応力の育成を目指します。
- 経験にとらわれた教育実践から脱却し、エビデンス^{*}に基づく、より効果的な教育を進めていくとともに、産官学民との連携により、最先端で質の高い新たな学びを積極的に学校に導入し、社会に開かれた教育課程の実現を目指します。
- 児童生徒などの様々な課題を早期に発見し、一人ひとりの状況に応じた支援を的確に行うため、教育相談体制の充実を目指します。

(2) 地域との連携の強化

- 学校運営協議会について、保護者や地域住民への周知・啓発を図るとともに、委員に対しては、研修会等を通じてより深い理解を目指すことで、委員の自主的な参画を促すなど、地域との連携強化を図ります。

(3) 教育環境の充実

- 児童生徒数の増加や教室不足の状況把握、戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱などにより、適正な学校規模の維持を目指します。
- ◆ 戸田市公共施設再編プランに基づく中長期的な学校施設の維持管理やICT環境整備を進めます。
- 単独校給食調理場の新設及び改修による給食供給量の確保や食物アレルギーへの対応を推進します。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う割合	授業がわかる調査の回答割合	小：77.7% 中：75.6%	小：83% 中：83%	【全国学力・学習状況調査結果】令和12年(2030年)時点の90%達成に向け増加幅を平準化
中学校3年生の英検3級以上の取得率	中学校3年生の英検3級以上の取得率	55.5%	64%	令和12年(2030年)時点の70%達成に向け増加幅を平準化
市立小中学校大規模修繕・増改築の達成率	小中学校の工事の年次達成割合	—	100%	公共施設中長期保全計画に基づく進捗率

関連計画

- 第4次戸田市教育振興計画
- 戸田市公共施設等総合管理計画及び戸田市公共施設再編プラン

